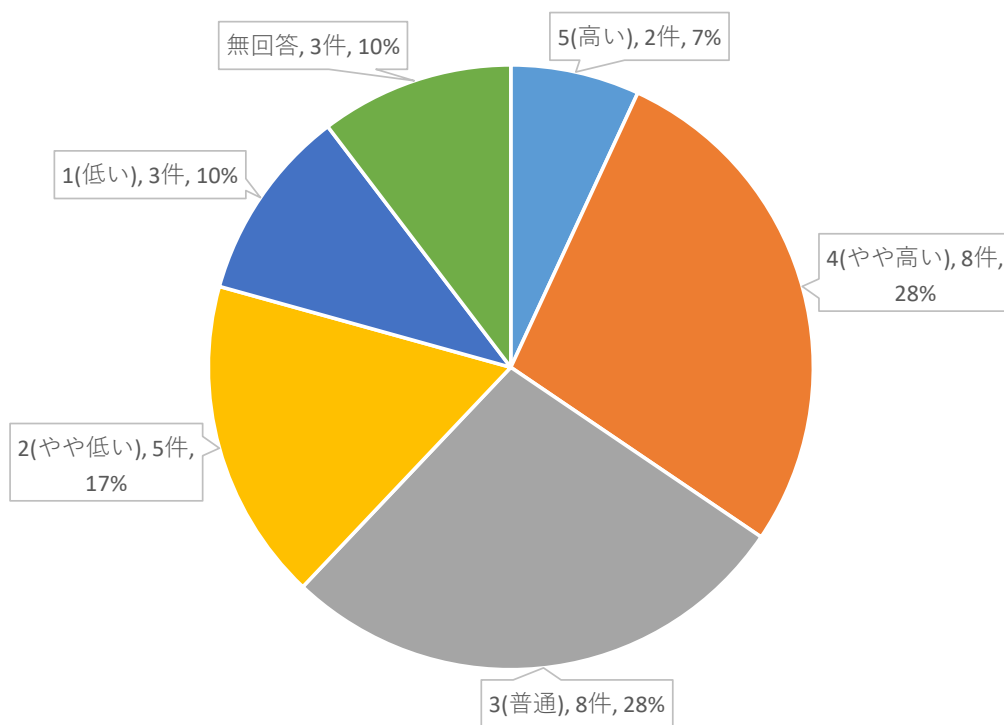


「2050ゼロカーボン・ヤチヨ・シンポジウム」 来場者アンケート【集計結果】

来場者数	64名
アンケート回答数	29件
回答率	45.3%

※下記枠内の自由記述欄については、原則、回答者の記載をそのまま転記しております。

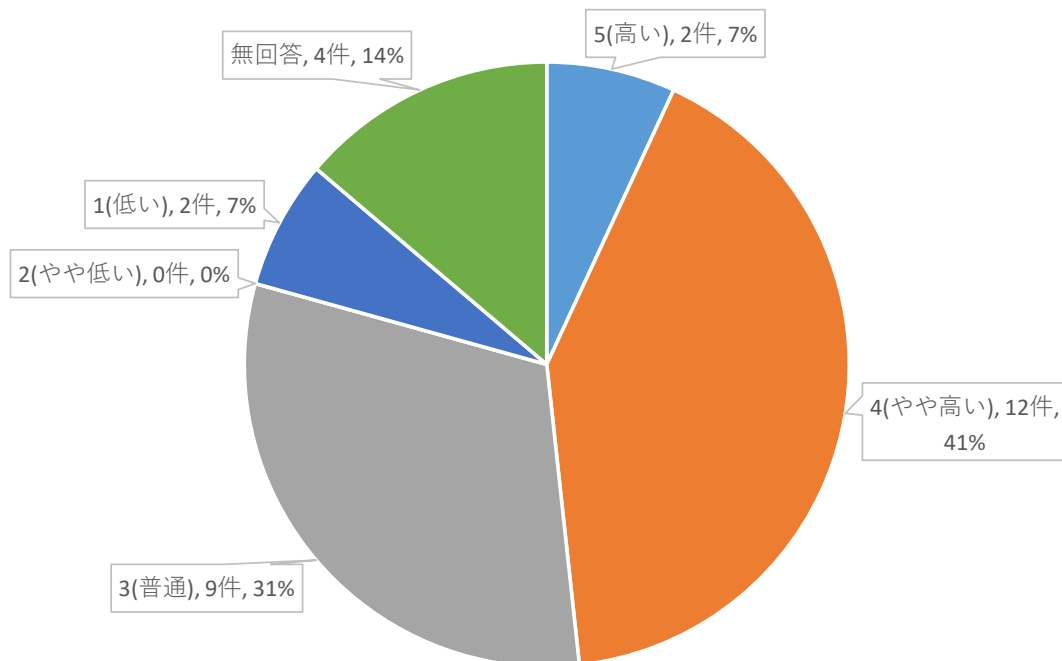
1. 市発表「八千代市における地域脱炭素の取り組みについて」の満足度を教えてください。



自由記述

- 方針はよいが進捗度が不明。
- 八千代市の都市計画に合わせたゼロカーボン計画の作成。
- 市の政策がうわべだけに感じた。現実味が感じられない。危機感が感じられない。

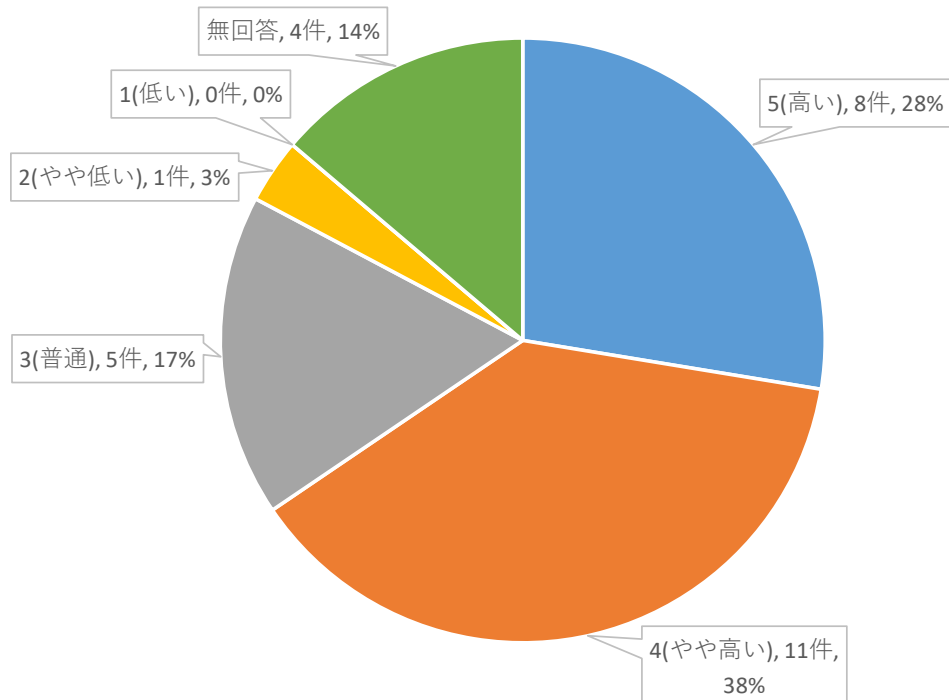
2. 基調講演「ゼロカーボンシティ実現に向けた地域の課題と展望」の満足度を教えてください。



特に印象に残った内容

- 東北大・中田研究室の八千代市のエネルギーフロー。家庭部門は全て再エネで賄えるというのが印象に残りました。
- 学校、市民、産業、行政がゼロカーボンに向かって進んでいることを理解できました。
- 八千代市以外の県や国の動向が参考になった。
- 盛りだくさんで全体の内容が薄くなり残念。目的、方針はよくわかる。
- 近くの事例が伝わるのは良かった。
- 太陽光ありきの取組み。
- エネルギーフローが分かりやすかったので検索したい。
- 全世界的な課題、方向性、国内、県内における本市の状況について分かりやすく説明していただいたと思います。
- 化石コストと同等になっている。

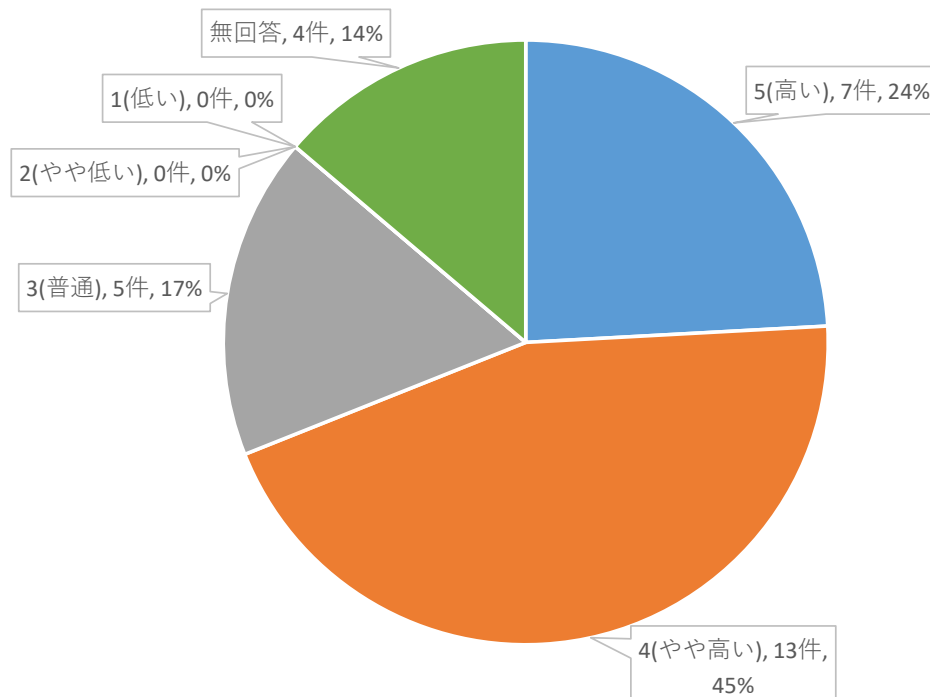
3. 企業・市民団体・自治体からの「事例紹介」の満足度を教えてください。



特に印象に残った団体や内容

- やちよ未来エネルギーすばらしいですね。
- TOAシブルさんの事業内容の中で「里山保全」があり、地域も自分がやっている保全活動の場所、保品地区と近く、何か一緒に出来たら良いなと思いました。
- 小林さん、舟瀬さんの話。
- 松戸市、森林環境譲与税による協定。
- 小林さん。収益を子ども食堂にまわす取組みはすばらしいし協力させていただきたいと感じます。
- TOAシブル→環境活動を通じて社員の自己肯定が強くなったのは素晴らしい。やちよ未来エネルギー。松戸市環境未来会議。
- 企業でも努力していることがわかった。
- やちよ未来エネルギー研究
- 再生エネルギー→新電力→市民の活用。
- 大きな企業を巻き込み、もっと大きな取組みが必要と感じた。
- 松戸市。クリーンセンター発電、松戸市市民会議の開催。
- 松戸市の取組みについて、先進的なものが多く、詳しく調べてみたいと思った（効果を含めて）。エコ教育プロジェクトについて、是非広めていきたいと思う。
- TOAシブルの油脂燃料生産やリサイクルへの取組み。
- 企業さんのゼロカーボンへの対応。

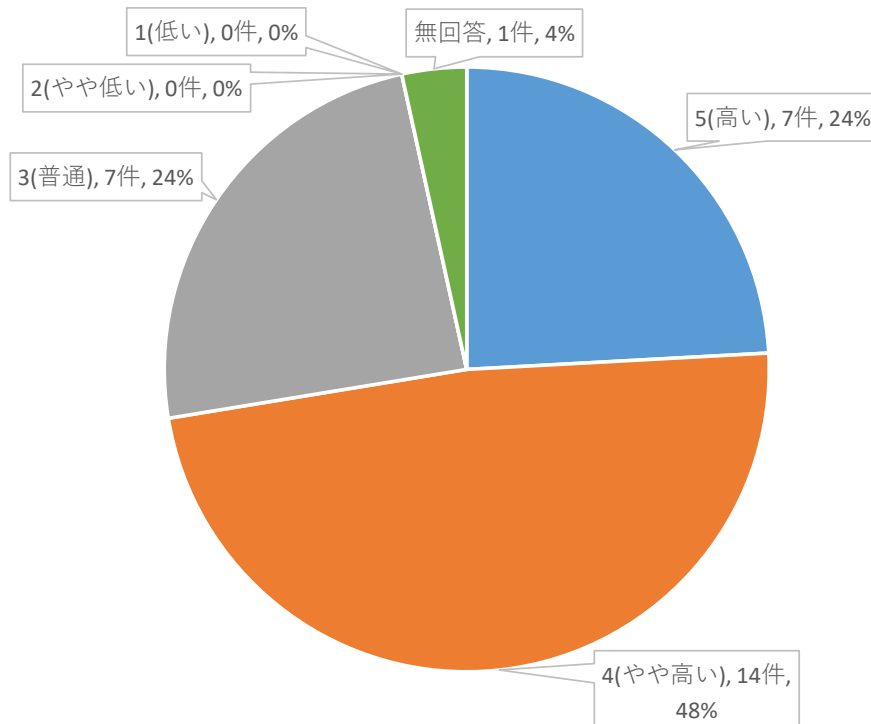
4. パネルディスカッションの満足度を教えてください。



特に印象に残った内容

- 事業所さん、市民活動団体、行政、教育関係と様々な視点からのディスカッションは市民にもわかりやすく楽しく聞くことができました。自分事と捉えられるのが良い印象残ります。
- これからの新しいエネルギーの話し合い。
- 小林さん。市の協力、民間の協力の中で事業を広げてください。
- 各パネリストの方からの直な意見が聞けて良かった。
- 子どもよりも大人への教育、職場での環境教育を充実してほしい。
- 特にないが、もっとつながったらいいと思う。
- 脱炭素農業。
- 馬上代表の八千代市の強み・弱みの言葉で、政策面が不十分（時間の制限のある中）。実際にうわべだけの政策に感じた。市は危機感が全くないと感じた。
- 太陽光発電以外の取組みとして、バイオマスの取組みが可能。酪農ふん尿。資源循環。
- 馬上先生の言われるゼロカーボンが今までの環境政策と異なるということ、八千代市の自然が強みだということ、本市に長く住んでいると気が付かない事が多いと思う。
- 松戸市の話は面白かった。太陽光発電ばかりでしたね。残念。
- 皆様の大変貴重な意見を伺えました。

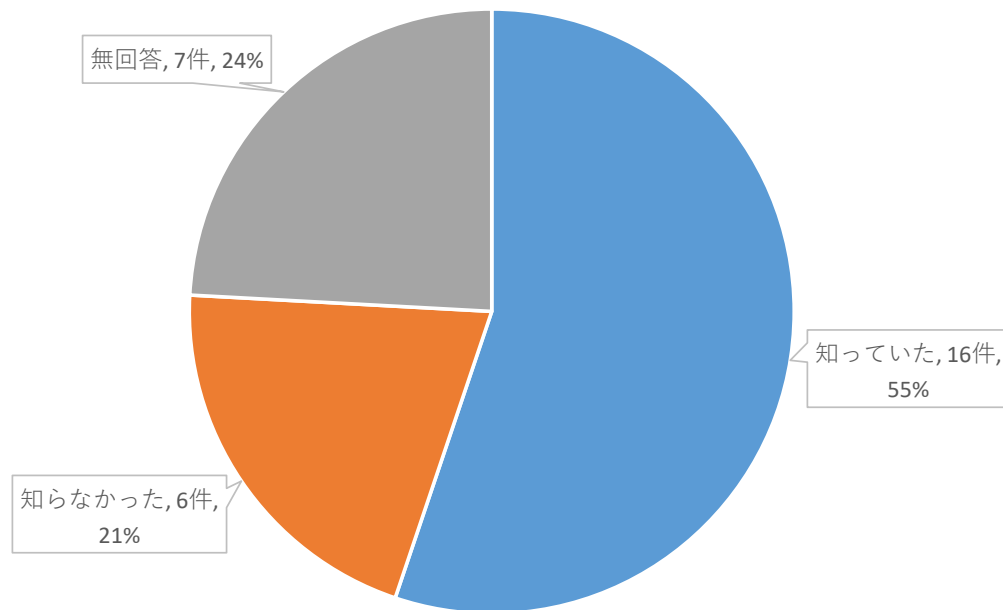
5. 本日のシンポジウムの全体的な満足度を教えてください。



シンポジウム全体についてご意見や感想

- 八千代市北部の荒廃した竹林を活用してほしい。竹を竹炭にすれば新たな資源になります。ぜひお願いします。北部の少子高齢化やばいです。
- 八千代市で初めてのこういったシンポジウム嬉しく思います。市内で様々な取組みが繋がりますよう、ゼロカーボンシティ推進室さんにも期待しております。
- 知らないことを知れて良かったです。
- 言葉遣いの間違いが気になった。「パネラー」とは言わない、「パネリスト」。
- 概念ではなく具体策をより深く議論する方向が必要と思います。
- 市の本気度が感じられなかったのは残念。2050年CO2排出ゼロ宣言をしているなら市庁舎完全ZEB化は当たり前です。市民の命は守っていただけないのだと感じました。
- 継続していくことが大事だと思う。
- 農村部の事例ももう少し欲しかった。
- 企業の従業員への指導、学校での教育に力を入れて、自分たちの生活（スタイル）を大きく変える位の事をしないと実現は難しいと感じた。行政だけの取組み以外も力を入れてほしい。街路樹の伐採がひどい。落ち葉の問題もあるかもしれないが、マッチ棒のように切りすぎている。公園の木も切りすぎてしまいさびしい感じがする。緑を増やしてほしい。
- 今後も継続してもらいたい。
- 今回のシンポジウムを通じて、ぼんやりしたイメージであったものが多少は具体的に見えてきた。非常に有意義なシンポジウムだったと思う。
- 農業が環境保全の鍵となるという意見があったが、後継者不足でなくなってしまう農地（梨園など）も目にしてきた。農業の後継者問題にも言及してほしい。
- こういう機会を増やしていくことが大事だと感じました。
- 今日の話題は一般市民がやるべきことについての言及が少なかった。八千代市の計画では、一般家庭からのCO2削減に頼っているので、一般市民向けの働きかけをもっとすべきである。

6. 八千代市が「ゼロカーボンシティ宣言」をしていたことをご存知でしたか。



7. 八千代市が地域脱炭素を進めていくうえで、最も効果的な取り組みは何だと思いますか。

自由記述

- 市の施設に太陽光発電をつける。
- イベントを多く催す。
- 学校の屋根、公共施設の屋根活用は技術の進展でPPAが可能です。札幌や浜松での取組みにならない民活を行う為の入札等を実施ください。
- 実行力。ゼロカーボンシティ推進室に多額の予算をつける。ゼロカーボンシティ推進室を中心に勉強会を定期的に行う。
- 市民は知らないだけだと思うので、もっと広めて欲しいです。
- ごみ焼却は家畜ふん尿、食品残渣と合わせバイオガス発電。焼却時の熱は排管作り熱供給利用。市庁舎は完全ZEB化で。
- 新庁舎へエネルギー効果が見れる事。
- 市民への周知。
- 会議やシンポジウムでは前に進まないでフィールドワークイベントを進めやすい環境づくり。
- PPA、営農シェアリング、ZEB、モビリティの活用など。
- 住民への周知、学校への教育、企業から従業員への指導を通して危機感を持ち、何をしていかなければいけないか、真剣に考えて実行していく事が必要（行政まかせでは実現できない）。
- クリーン電力。北部の豊かな森林・農地の活用。
- 公共団体や市、教育機関が環境への取組みをもっと周知するべき。太陽光パネルや生ゴミ処理機の購入補助金を増やし、それを市民に周知するべき。全国的にも値段が高いと思われるゴミ袋の収益をもっと環境課題に投資するべき。

8. 感想・自由意見

自由記述

- 今日を皮切りにゼロカーボンシティに向かって全員が団結して取り組んでいければと思います。
- 企業、団体、自治体の取組みを聞いて良かった。取組みを発信する機会を増やして八千代市(民)全体として意識が高まれば良いと思いました。
- 色々な取組みがあることを知る良い機会となりました。多くの市民がこのような取組みを知り、積極的に関わっていけるようになると良いと思います。ありがとうございました。
- 強い行動力をもって推進していただきたい。
- 北側に農地はあっても変電所までが遠く、連系負担金が大。八千代市が作るSPCに民間のTK出資を募り、八千代市も出資者となり部分的には税負担を含め事業化を図り、荒廃農地の再生、そこで働きたいと思う若い人の募集、住宅提供等の施策を望みます。高圧の蓄電所事業は、1000㎡弱の土地で変電所の近くの土地であれば負担金も安く、経産省補助金活用して事業化ができると思います。営農指導含め、体制作りはそんなに難しくないと思います。
- もっとスピード感が大切だと思います。
- 市の本気度が感じられないのは残念。取組速度が遅すぎます。2030年に県内でも気候危機により浸水するデータ予測もある中、今すぐ抜本的取組が必要です。
- 八千代市の自然災害が小さいので、温暖化防止に無関心な市民、市職員が多い。ホームページの充実や継続した活動にしていきたい。
- もっといろいろな方が参加できると良いと思う。
- 大変参考となりました。ありがとうございました。
- 危機感、実行に移すには、今の生活（ライフスタイル）を続けると近い将来、地球はどうなってしまうのかシミュレーション映像を見て、真剣に考え取り組んでいかなければいけない（もう時間は残されていない）。人まかせではいけないと思う。地球は人間だけの星ではない。人間のエゴで他の生物、環境をこわしてはいけない。馬上さんの豊かな自然を残していく事が大事という言葉がひびいた。高齢化による荒廃農地の再生（ソーラーシェアリング）を行い、食料問題もクリアしてほしい。
- 用語が難しかった。今回のシンポジウムが専門家対象の者だったなら場違いだったかも。ただ、パネルディスカッションはとても興味深かったので、一般市民向けのときはもう少しやさしい言葉での説明をお願いしたい。
- 個人的な感想（かつ、本シンポジウムのテーマから外れているかもしれませんが）ですが、市内の憩いの場となっていた自然環境がどんどんなくなり開発されて悲しく寂しい気持ちになります。不動産開発も重要な経済発展の一部なのは理解していますが、空き地や空き家をもう少し活用するようにし、自然環境を保全するように努めるべきであり、環境問題解決の手立ての一つとなるかと思います。東京で働いているが、都の一部の自治体の公共施設では、トイレの流水に雨水を使用している。千葉の自治体や企業も導入してほしい。気候変動で温暖化や降水量の増大が課題に挙げられているが、逆にそうした環境の変化を利用して問題の解決に役立てることも必要では。パネリストの中で女性は一人だけ。男性目線の議論になりがちではとつい思ってしまいました。男性優位は日本社会全体の課題だが、女性の意見ももっと多くすくい上げなければ、社会問題の一つである環境問題も解決が難しいと思う。
- 全体として脱炭素の話が中心だったような印象でした。緑を増やす目的の造酸素の活動、話し、取組方針等も詳細が判ると、家庭に導入できるような気がしました。地域の活動を支援するための市、県、国としての取組みも紹介していただけると良かった。発電の話は、もう古い話が多かった。